

21. テンポラリークラウン

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従うことができる
- ・ ステップ毎に報告できる
- ・ 必要器材を的確に準備できる
- ・ 適当な暫間補綴法が選択できる
- ・ 適切な大きさのレジンキャップ・アルミキャップが選択できる
- ・ 分離材を塗布できる
- ・ 適切な咬合を付与できる
- ・ 適切なマージンを付与できる
- ・ 解剖学的形態を考慮しながらテンポラリークラウンの作製ができる
- ・ 仮着材の量は十分である
- ・ 余剰な仮着材をきちんと除去できる

<設定場面>

患者は40代女性。右下4の支台歯形成終了後、テンポラリークラウンを作製・仮着することになった。

<治療手順>

1. 指示

歯科医師：テンポラリークラウンの作製を衛生士に指示する。

I. 前歯直接法（レジンキャップ法）

2. レジンキャップの選択と削合 必要器材：レジンキャップ、カーバイドバー、エンジン

衛生士：歯頸部の適合するレジンキャップを選び、隣接面などを削合して調整する。

3. 製作 必要器材：分離剤、即時重合レジンセット、ガーゼ、レジン重合皿、レジン用筆、湯(40℃程度)、金冠ばさみ

衛生士：支台歯に分離材としてココアバターなどを塗布する。

衛生士：レジンキャップに即時重合レジン筆積みで半分ほど満たし、支台歯

に圧接する。

衛生士：レジンが完全硬化する前に支台歯から外す。

衛生士：過剰部を金冠ばさみで切り、支台歯に戻し変形の程度を確認する。

衛生士：支台歯から外し、湯につけて、硬化を完了させる。

4. 修正と仕上げ 必要器材：咬合紙、咬合紙ホルダー、サンドペーパーポイント、レジnlルージュ、研磨用ポイント、鹿皮ホイール

衛生士：テンポラリークラウンを支台歯に戻し、過不足を確認する。適合が悪い場合には内面を一層削り、削除した両程度のレジンを筆積みで足して圧接し直す。

衛生士：咬合紙を咬ませてマークがつかなくなるまで過高部を調整する。

衛生士：つや出し研磨まで順に行う。

5. 仮着 必要器材：仮着材、デンタルフロス、錬和紙、スパチュラ

衛生士：テンポラリークラウン内面全体に仮着材を塗り、支台歯に圧接する。

衛生士：仮着材の硬化を待って、余剰分を探針やデンタルフロスで取り除く。

6. 片付け

助手：診療終了後、診療器具の片付けを行う。

II. 白歯直接法（アルミキャップ法）

2. アルミキャップの選択 必要器材：アルミキャップ

衛生士：歯頸部の大きさにあつたアルミキャップを選択する。

3. アルミキャップの調整 必要器材：金冠ばさみ、カウンタリングプライヤー、ゴードンのプライヤー、アブレーションポイント、咬合紙、咬合紙ホルダー

衛生士：患歯に試適し、歯科用探針で歯頸線をアルミキャップにマークする。

衛生士：取り出したアルミキャップにマークされた歯頸線より 1mm 長く余剰

部を切り取る。

衛生士：アルミキャップにプライヤーで豊隆を与える。

衛生士：アブレーションポイントなどで断端を研磨する。

衛生士：口腔内に戻し、咬合紙を使用して咬合状態を確認する。

4. 仮着 必要器材：仮着材、鍊和紙、スパチュラ

衛生士：アルミキャップに仮着材を満たし、支台歯に圧接する。

衛生士：硬化を待って余剰分を取り除く。

5. 片付け

助手：診療終了後、診療器具の後片付けを行う。

Ⅲ. 臼歯直接法（即重レジン法）

2. 製作 必要器材：分離剤、即時重合レジンセット

衛生士：支台歯に分離材を塗る。

衛生士：患者に声を掛けながら支台歯にレジンに圧接する。

衛生士：「ゆっくり咬んでください」と声を掛け咬合関係をマークする。

衛生士：硬化直前に支台歯から外し、ぬるま湯で硬化させる。

3. 修正と仕上げ 必要器材：鉛筆、カーバイドバー、研磨用ポイント、サンドペーパーポイント、鹿皮ホイール、レジンルージュ

衛生士：マージン・接触点を鉛筆などでマークし、カーバイドバーで歯の形態を整える。

衛生士：支台歯に戻し、咬合紙で咬合関係をマークする。

衛生士：高い箇所を削合し、形態も解剖学的形態に近づける。

衛生士：改めて支台歯に戻し、咬合関係・マージンなど過不足を確認する。

衛生士：咬合・適合などがよければ、順につや出し研磨まで行う。

4. 仮着 必要器材：仮着材、デンタルフロス、練和紙、スパチュラ
衛生士：支台歯を簡易防湿し、仮着材を満たしたテンポラリークラウンを圧接する。

衛生士：仮着材の硬化を待って、余剰分を探針やデンタルフロスで取り除く。

5. 片付け

助手：診療終了後、診療器具の後片付けを行う。

21. テンポラリークラウン

必要器材

- ①レジんキャップ ②カーバイドバー ③エンジン ④分離材 ⑤即時重合レジんセット ⑥ガーゼ ⑦レジん重合皿 ⑧湯 (40℃程度) ⑨金冠ばさみ ⑩咬合紙 ⑪咬合紙ホルダー ⑫サンドペーパーポイント ⑬研磨用ポイント ⑭鹿皮ホイール ⑮仮着材 ⑯デンタルフロス ⑰練和紙 ⑱スパチュラ ⑲アルミキャップ ⑳カウンタリングプライヤー ㉑ゴードンのプライヤー ㉒アブレーションポイント ㉓鉛筆 ㉔レジんルージュ